

## 国造ゆずの産地拡大に向けた支援をしています。

南加賀農林総合事務所

能美市の中山間地にある国造（こくぞう）地区で生産される「国造ゆず」は、昭和 61 年から栽培を開始し、現在 1.2ha に約 700 本が植えられています。

国造ゆずは、栽培期間中農薬不使用・有機質肥料で栽培されています。

果実の 7 割以上がシロップやジュース、羊羹、化粧品などの加工品に利用されるなど能美市の特産品となっており、毎年 11 月上旬に開催される「国造柚子まつり」等での P R 活動により知名度が高まっています。

しかし、生産農家の高齢化により生産者は 7 名まで減少しています。

また、年により収量が 10t から 2t 程度と変動し供給が不安定なことや、生産者ごとに栽培管理が異なるため収量や品質に差が生じることが課題となっています。

そこで、南加賀農林総合事務所では、毎年 10t の安定生産を目標に、収量の年次変動を解消する摘果・せん定等の栽培講習会の開催や栽培管理指導等、品質の安定化に向けた取り組みを実施しました。

また、消費者から要望の多い栽培履歴等の情報発信や他産地との差別化を図るため、平成 29 年度に「県特別栽培農産物」の認証、令和元年度には「いしかわ G A P」の取得に対する支援を行いました。

今後は、耕作放棄地等への栽培面積の拡大及び新たな担い手確保に向けて、生産者、能美市のほか、県外から移住してきた地域おこし協力隊員等とともに収穫体験イベントの開催等を支援する予定です。

令和 5 年 3 月の北陸新幹線県内全線開業による交流人口の増大も見据え、南加賀の里山から「国造ゆず」の魅力をさらに広く発信するための準備を一步ずつ進めています。



国造ゆず生産者



国造ゆずとその加工品

問い合わせ先：農業振興部（0761-23-1703）